

# 公共施設マネジメントの取組

---

企画部 公共施設マネジメント課



- 1 公共施設を取り巻く状況と課題
- 2 課題解決に向けた取組
  - ①公共施設再編基本計画
  - ②まちづくりワークショップ

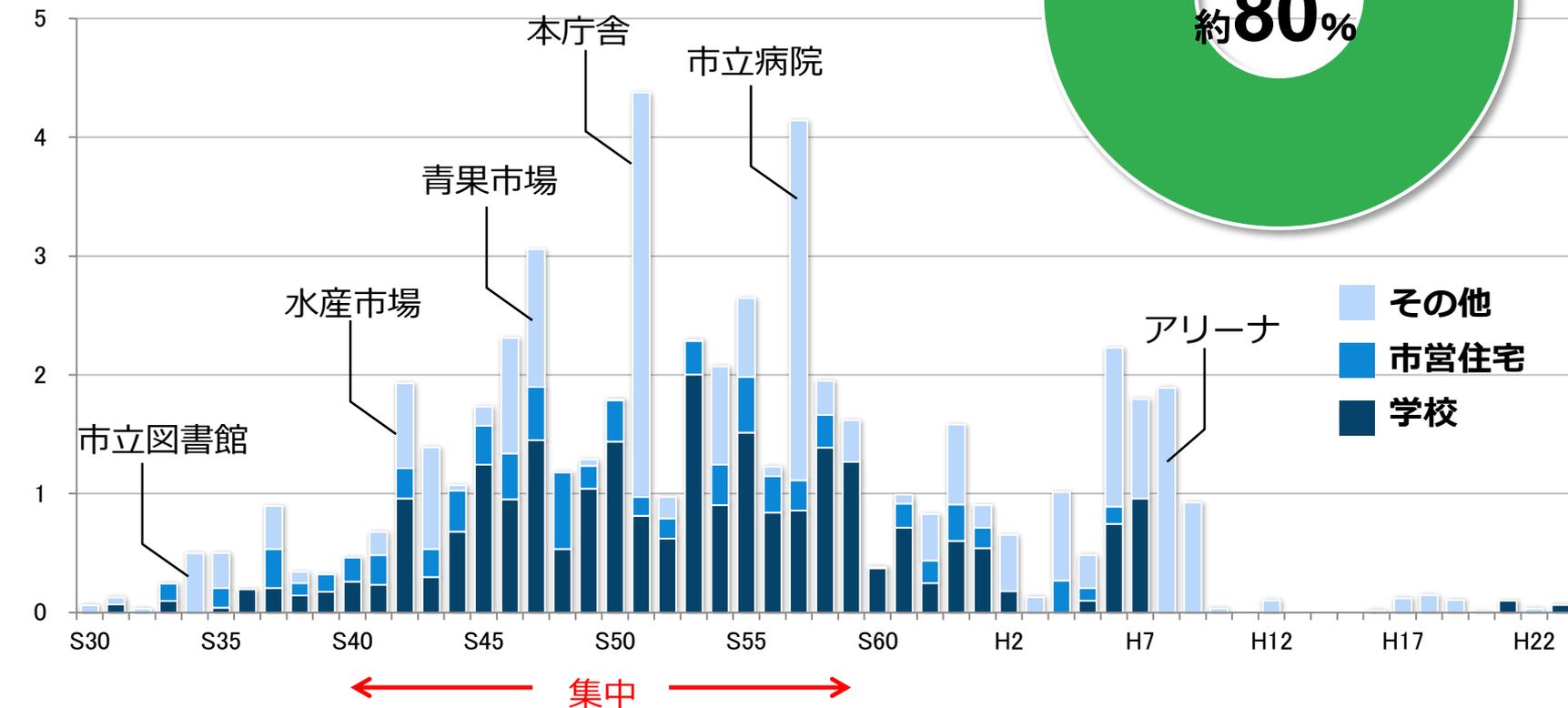


# 1 公共施設を取り巻く状況と課題

一時期に集中して整備した

→ 建替えなどの時期も一斉に来る

(万㎡) 整備年ごとの面積



# 1 公共施設を取り巻く状況と課題

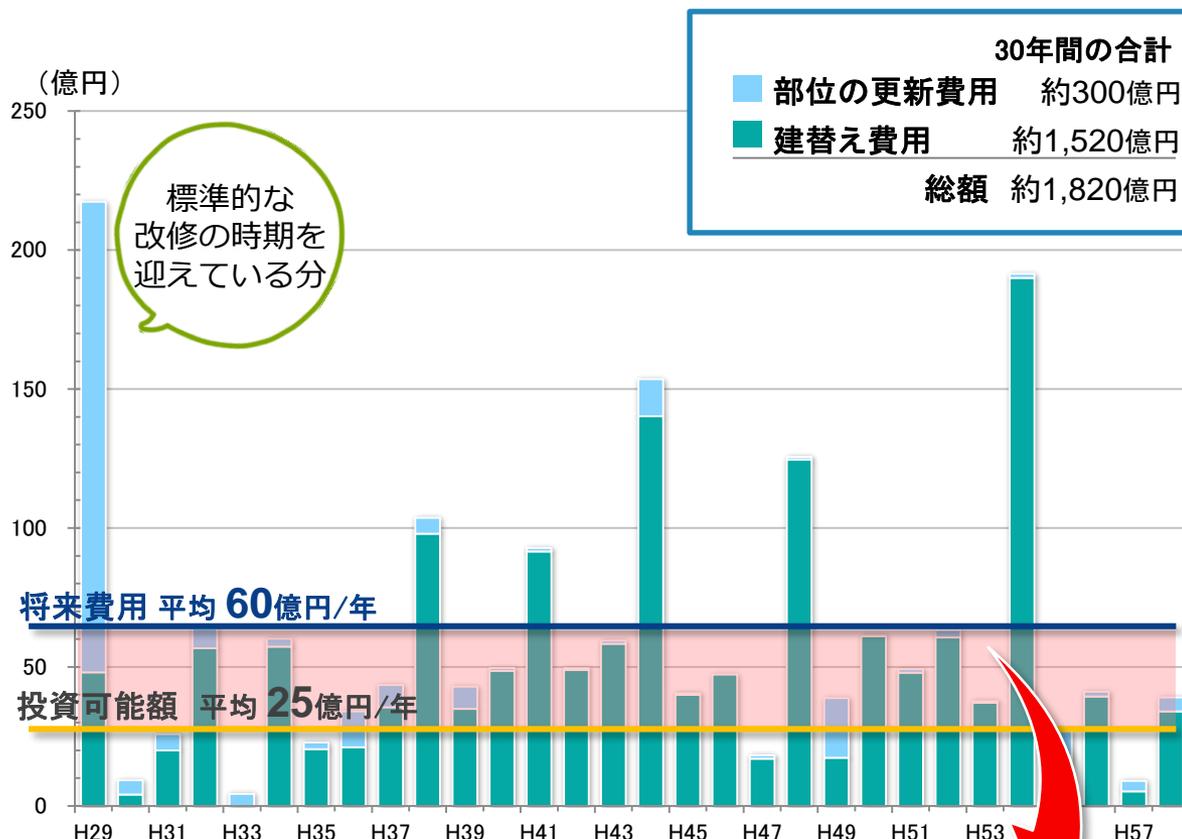
市の建築物が老朽化していて、  
修繕・建て替えが必要

↓  
出るお金が増える

高度経済成長期に整備された市の建築物が、老朽化しています。今ある全ての建築物を維持する場合、これから30年間で、約1,070億円の財源が不足すると見込まれています。市の建築物のあり方についても、考えなくてはなりません。



今ある施設をすべて築60年で建替える場合の長期保全費用



将来費用1,820億円

-

投資可能額750億円

=

財源不足1,070億円

# 1 公共施設を取り巻く状況と課題

## きびしい財政状況

人口減少・少子化

生産年齢人口が減っていく



入るお金が減っていく

高齢化

福祉や医療にかかる  
お金が増えている



出るお金が増えている

市税収入全体の推計

平成28年度 → 約332億円



平成42年度 → 約310億円

約22億円の税収減

扶助費の推移

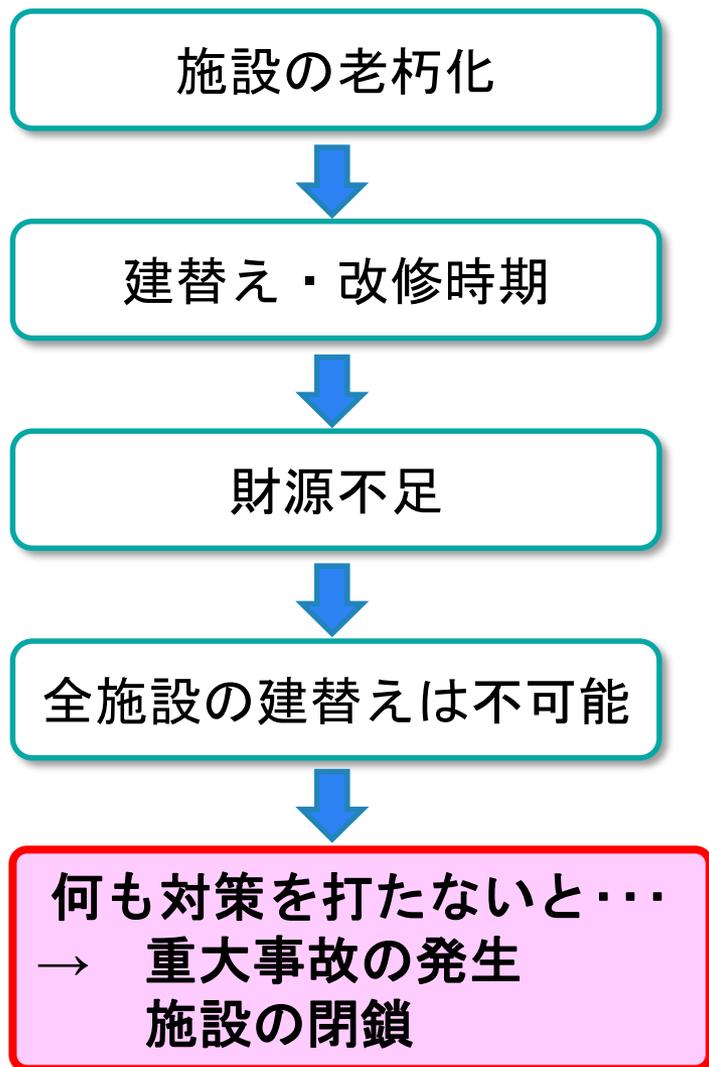
平成18年度 → 約99億円



平成28年度 → 約181億円

10年間で約1.8倍

# 1 公共施設を取り巻く状況と課題



どうする！？

- 施設の安全・安心な利用
- 持続可能な行政サービス
- 将来世代に負担を残さない

「公共建築物マネジメント基本計画」  
(平成29年3月策定)

公共施設の今後のマネジメントの方針や  
取組内容を示す。

## 2 課題解決に向けた取組

「公共建築物マネジメント基本計画」 → 3つの取組



## 2 課題解決に向けた取組

計画策定、市民へのアプローチ、個別事業との調整を並行

平成29年度～平成30年度

### □ 公共施設再編基本計画

- 複合化や統廃合を含めた再編計画  
→ 機能・配置の適正化による総量縮減

### □ 市民との課題・情報共有

- シンポジウム、まちづくりワークショップ
- 回覧板、広報紙、アンケート

### □ 個別事業との調整

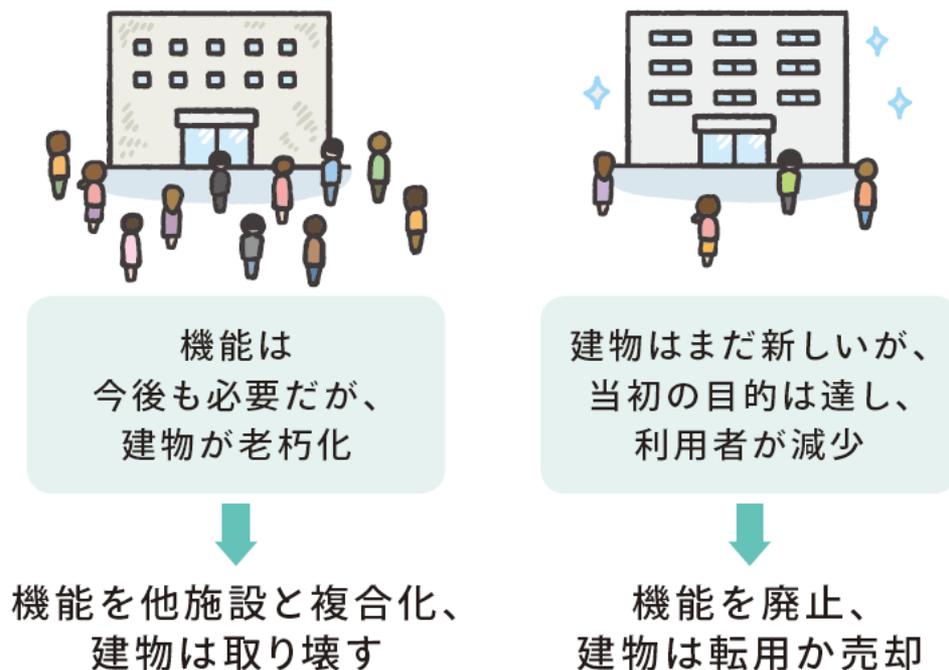
- 老朽化等の課題により個別の対応が必要なものは、計画と並行して進める

公共施設  
再編事業

## 2 ①公共施設再編基本計画

学校、市営住宅、集会施設など全ての市の施設を対象に、個別施設ごとに今後の施設のあり方を検討して、複合化や統廃合など施設の再編を示す計画

- 施設の数や規模を減らしながらも、必要な機能（サービス）をどのようにして残していくか。
- 施設を機能（サービス）と建物で分けて考え、適正に配置する。



## 2 ②まちづくりワークショップ

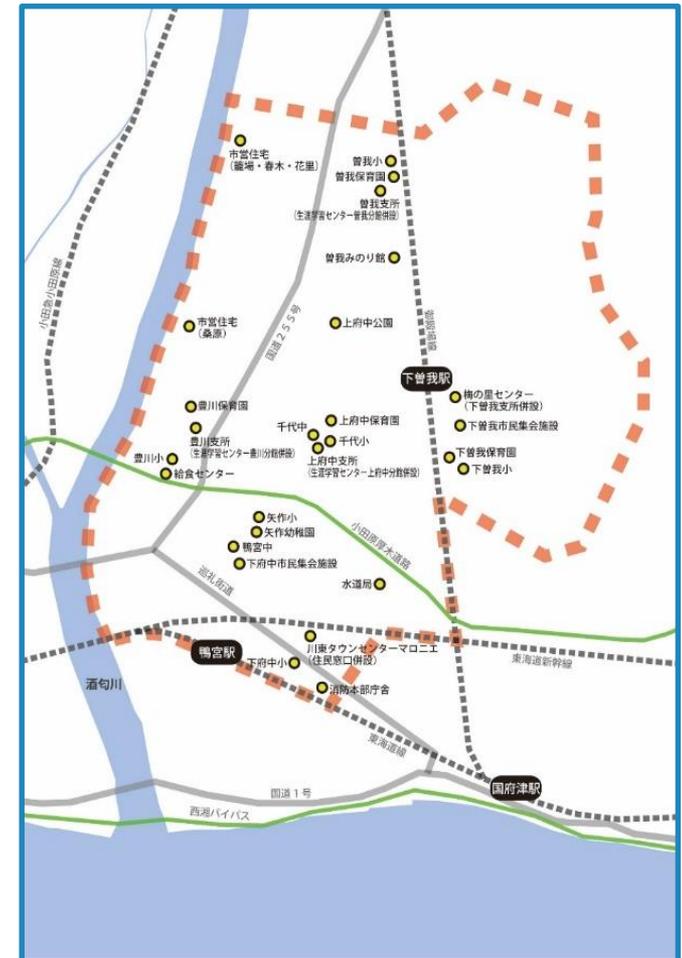
住民自らが地域における将来の公共施設のあり方について考え、再編の形を検討する。

- 運営：大学教授が進行役となり、学生とともに大学研究室が運営
- モデル地区：千代地区と鴨宮地区
- 参加者：5つの連合自治会の地域コミュニティ組織とPTA連絡協議会に推薦を依頼

【千代地区】横浜市立大学



【鴨宮地区】工学院大学



# 2 ②まちづくりワークショップ

## ■公共施設マネジメント通信

小田原市の公共施設マネジメントの現状や課題などをお伝えするため、平成29年度から発行し市ホームページで公開しています。

### 公共施設マネジメント通信 vol.7

平成 30 年度 平成 30 年 7 月 3 日発行  
第 6 回まちづくりワークショップを開催しました！ 小田原市企画部  
公共施設マネジメント課

自分たちの生活圏にある公共施設のあり方話し合う「まちづくりワークショップ」。市では平成 29 年度から、市街化調整区域から人口集中エリアまで多様な地域特性を持ち、様々な種類の公共施設がある、千代地区と鶴岡地区で始めています。

---

#### 鶴岡地区

発行：工学院大学 建築学部  
諫藤 新 研究室

平成 30 年 7 月 3 日発行  
小田原市企画部  
公共施設マネジメント課

---

#### 意見交換の概要

日時：5月23日(水)18:30～20:30 参加者：16名  
場所：川東タウンセンター202 会議室 傍聴者：2名

---

#### 第 6 回テーマ

矢作エリア・豊川エリアのハイロット・プロジェクトについて話し合う。

---

#### 意見交換の論点

「ハイロット・プロジェクト」とは？  
…「短期的に取り組むべきプロジェクト」として宣言している。

<豊川エリア>  
どのようなハイロット・プロジェクトがあり得るのか話し合う。  
<矢作エリア>  
それぞれの公共施設が更新時期に近づいているため、再審の必要がある。

---

#### これまでの議論を受けて作成した再編方針やハイロット・プロジェクトに対する意見交換

##### ■「矢作エリア」に対する参加者の意見

○駅舎中に集約するのは砂浜  
駅舎の中継や入口は、子どもと大  
への集 人で分けた方が安心  
約に○学習環境は維持されるのか  
○集約する際に、機能の取捨  
選択を考える必要がある

多世代  
交流  
○学校同士が近づくことで、  
つながりが生まれるのは良い  
と思う

地域利  
用のよ  
やすさ  
○駐車場は必要になってくる  
○距離が遠くなって自行こ  
うと思えるような工夫が必要  
(カフェ、温泉等)

##### ■「豊川エリア」に対する参加者の意見

現状に対する意見

豊川  
全体  
○公民館は用地のため、雑草が  
できない  
○若い人や子育て世代が増えて  
いる

豊川  
支所  
分館  
○分館の場所は幹線道路に囲ま  
れていて利便性が高いと思う  
○公園やJAの駐車場があり、  
広いスペースに思っている

豊川  
小  
○豊川小は広域避難所だが、入  
口増加のためキャパオーバー

##### 将来に対する意見

○地域や文化の拠点にすることが  
できると思う  
○用途を幅広く使える機能が必要  
なわけではない

○安全で「建替」必要がある  
○兵隊室やホール、公民館を委  
託  
○コミュニティ施設があるといい  
○軽便車を整備する

○豊川の場所が集まることので  
きる場が必要なのは

### 千代地区

発行：横浜市立大学 国際総合科学部  
鈴木 伸哉 研究室

---

#### 意見交換の概要

日時：5月21日(月)18:30～20:30 参加者：17名  
場所：梅の里センター 会議室 A・B 傍聴者：4名

---

#### 第 6 回テーマ

平成 29 年度のワークショップの振り返り

---

#### 意見交換の内容

これまでのワークショップでの議論を踏まえた方針案に対して意見交換を行う。

---

#### 検討すべき課題

○集合施設の活用機能の把握  
○車が使えなくなったときのこと、  
駐車スペース  
○現状、使われていない、又はうまく使えていない建物・空間  
○身近に多世代と交流できる場所  
○多様化する地域活動のニーズ対応

---

##### ■ワークショップでの検討を踏まえた方針(案)

- 公共施設を効率的に利用する
  - 施設の量は減るが、効率的に利用してサービスの質を落とさない
  - 地区公民館の利用を含めて総合的に施設利用を考える
- 公共施設を複合利用する
  - 公共施設を複数の目的で複合的に利用することでサービスの質を落とさない
- 小中学校の有効活用
  - 小中学校を生学習拠点にできるのか
  - 夕方以降は市民開放するなど、小中学校の時間的機分けを行う
  - 空きスペースを積極的に活用
- 生活圏に配慮した再編
  - 交通アクセスや都市構造を踏まえた三つの生活圏(1.スポーツ・子育ての拠点、2.歴史・文化の拠点、3.生学習の拠点)に配慮し、それぞれの生活圏に地域活動の拠点を設ける
- 特色ある拠点
  - 公共施設に対するニーズが多様化しつつあるなか、それぞれの拠点に特色を持たせる
- 地域活動の情報共有
  - さまざまな活動の情報を共有することで、効果的に施設を利用し、地域の世代間交流を進める

##### ■参加者の意見・アイデア

- 公共施設を効率的に利用する
  - 施設周辺の空いている土地(田畑)を有効活用できるか
  - 現在の施設の予約方法が確実であるため、見直しが必要ではないか
- 公共施設を複合利用する
  - 複合利用が具体的に想像できない
- 小中学校の有効活用
  - 小中学校を生学習拠点にできるのか
  - 夕方以降は市民開放するなど、小中学校の時間的機分けを行う
  - 空きスペースを積極的に活用
- 生活圏に配慮した再編
  - 「生活圏」に配慮することは良い
- 特色ある拠点
  - 施設の活用範囲を狭めるのではない
  - 「施設に対するニーズの多様性」と「特色ある拠点」は両立できるのか
- 地域活動の情報共有
  - 情報の発信者が不明
  - 様々な公共施設が発達しに良い

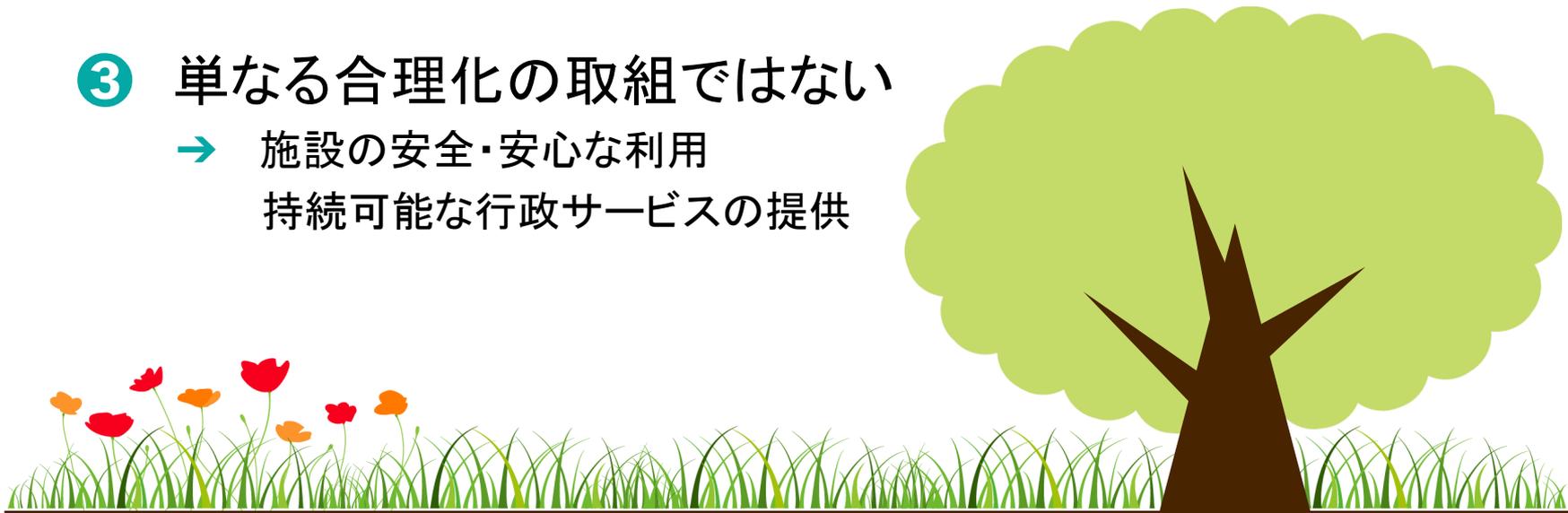
---

#### 【問い合わせ先】

小田原市企画部公共施設マネジメント課  
TEL：0465-33-1305 FAX：0465-33-1286  
Email：shinetsu@city.odawara.kanagawa.jp  
〒250-8555 小田原市筑紫300番地

# まとめ

- ① 施設の老朽化と深刻な財源不足**
  - 今ある施設をすべて維持することはできない
- ② 将来世代に負担を残さないために何ができるか**
  - 施設の数や規模を減らしつつ使い方を工夫
- ③ 単なる合理化の取組ではない**
  - 施設の安全・安心な利用  
持続可能な行政サービスの提供



今後も本市の取組について、  
ご理解ご協力をお願いいたします。

